

高品質なITサービス実現のために

「ITエンジニアの若手リーダー」 育成のすすめ

最近のITエンジニアの現場では、リーダークラスの若手がなかなか育ちにくいようです。それはなぜか、どう対策を講じたらよいか、NECマネジメントパートナーが考える原因分析、およびその対策のひとつとなる、Off-JTを活用した若手エンジニア育成のすすめかたをご紹介します。

あなたの職場やプロジェクトで、こんな問題は起きていませんか？

最近、お客さまから以下のような相談を受けることが増えました。

設計を自己流・我流で行うエンジニアが多く、担当者によって開発するシステムの品質にばらつきがあり、運用が大変・・・

頼れる若手がおらず、ベテランが現場から離れられずにいる・・・

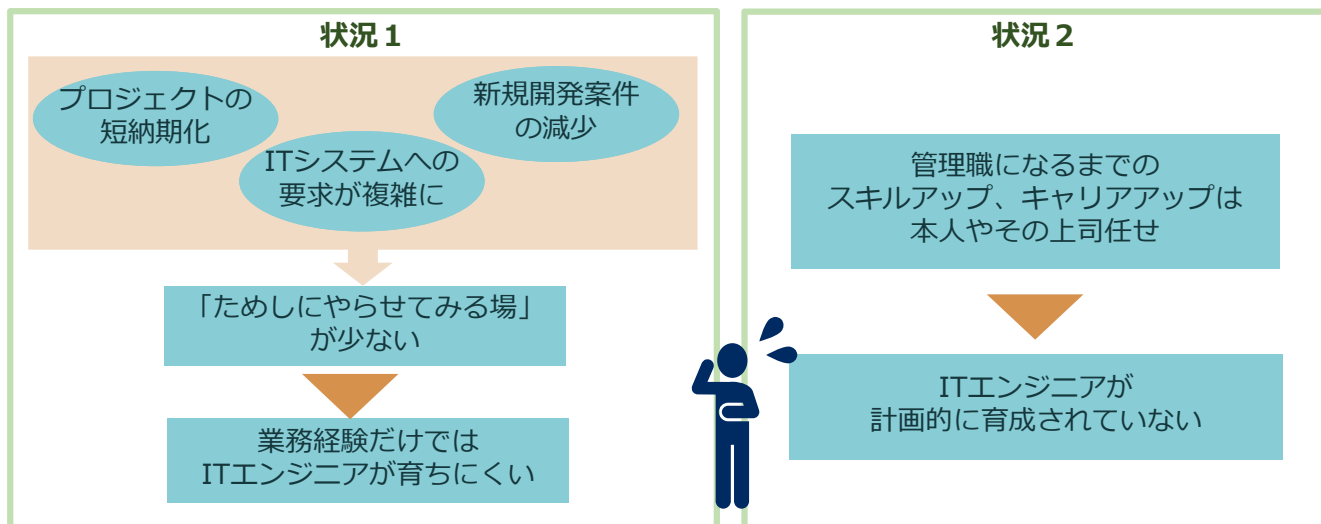
システムの品質に問題がある。納期が守れない。
どのようにマネジメントさせればよいのだろうか・・・



みなさまの職場で、似たようなことは起きていませんか？

その原因は・・・

その原因を分析してみたところ、最近のITエンジニアの現場は、以下のような状況に陥っていることがわかりました。



つまり、**OJTまかせにするだけでは若手エンジニアが適切に育たない**ため、それが品質の低いシステムや赤字プロジェクトの原因のひとつになっているのです。

Off-JTを活用してITエンジニアの若手リーダーを育成しましょう！

そこで、私たちは、**以下4つの業務を安心して任せられる** ITエンジニアの若手リーダー育成をご支援したいと考えています。

若手リーダーの業務1

システム要件を
定義する

若手リーダーの業務2

高品質なシステムを
開発する

若手リーダーの業務3

システム開発プロジェクト
をマネジメントする

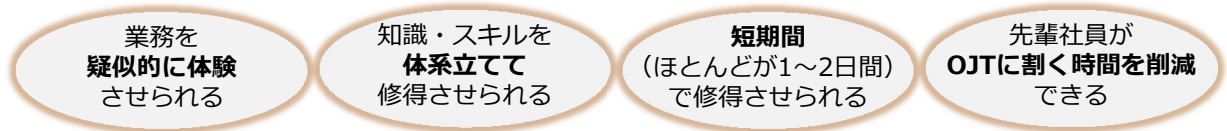
若手リーダーの業務4

システム運用を
マネジメントする

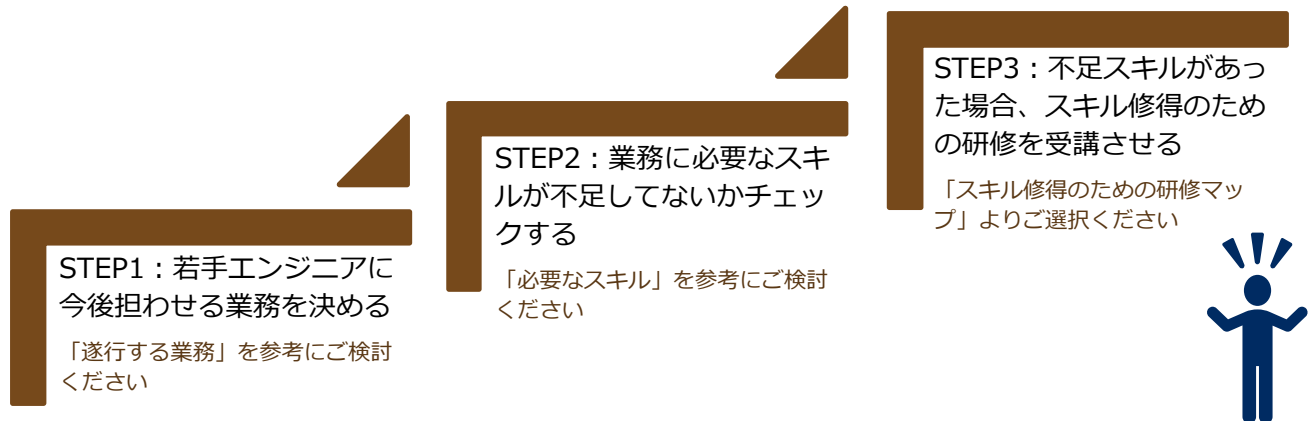
Off-JTを活用してITエンジニアの若手リーダーを育成しましょう！

もし、みなさまが「OJTによる育成は難しい」と感じておられるなら、ぜひOff-JT（研修）をご活用ください。なぜなら、Off-JTには、多くのメリットがあるからです。

Off-JT活用のメリット



Off-JTを活用したITエンジニアの若手リーダー育成は、以下の3ステップで進めてください。



「研修受講させただけで本当に業務を任せられるまでになるのだろうか？」と疑問をもたれる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。たしかに、研修受講だけで業務に活かせるレベル（その業務に必要な知識・スキルが定着し、必要な心構えを持っている）に到達することは不可能です。それには、**職場での研修前後のはたらきかけと、育成を考慮した業務のアサインがポイント**になります。これについては、本パンフレット最終ページの「Off-JTの効果を最大限に高めるために」にてご説明します。ぜひ当社研修をご活用いただき、ITエンジニアの若手リーダー育成を進めてください！

遂行する業務と必要なスキル、スキル修得のための研修体系

若手リーダーの業務1 『システム要件を定義する』

◆遂行する業務

ステークホルダーからの要求を基に、実現可能な要件を定義する

◆必要なスキル

- ①ステークホルダーから明示的・潜在的な要求を引き出し、ビジネスゴール達成のために最適な業務要件を定義できる
- ②業務要件の内容から、制約条件を踏まえたうえで実現可能な機能要件および非機能要件を定義できる

◆スキル修得のための研修マップ



若手リーダーの業務2 『高品質なシステムを開発する』

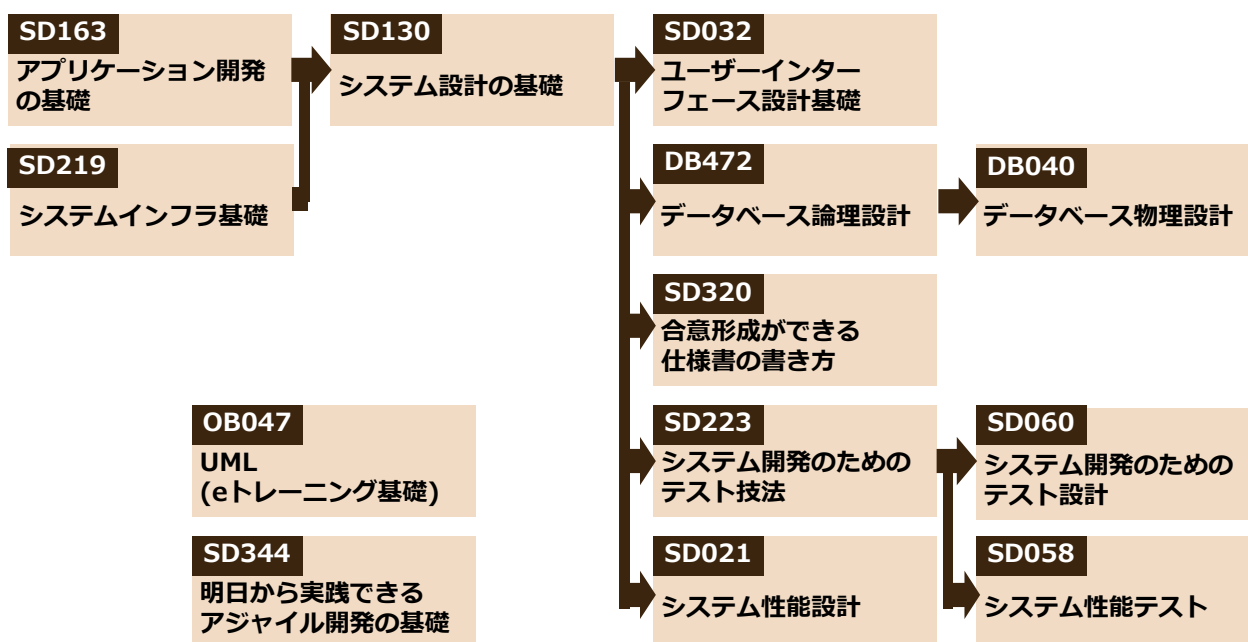
◆遂行する業務

システム開発の全工程において品質を確保した設計、製造、テストの実施を行う

◆必要なスキル

- ①システム化要件を網羅した機能設計、ユーザインターフェース設計、データ設計、インフラ性能設計等の各種設計業務を行える
- ②品質を確保するためのテストを設計できる
- ③システム開発全般において、標準化を実践できる

◆スキル修得のための研修マップ



若手リーダーの業務3 『システム開発プロジェクトをマネジメントする』

◆遂行する業務

システム開発プロジェクトの目的と目標を達成するために、計画を立てたり、発生する出来事に対処したりしながら業務を進める

◆必要なスキル

- ①プロジェクトの目的と目標を明確にできる
- ②プロジェクトの特徴や性格を考慮したプロジェクト計画書を作成できる
- ③計画通りに進められるように、プロジェクトをコントロールできる
- ④プロジェクトで発生する問題に対し、ステークホルダーを巻き込みながら解決できる
- ⑤今後のマネジメント業務に参考となる、まとめと教訓を作成できる

◆スキル修得のための研修マップ



若手リーダーの業務4 『システム運用をマネジメントする』

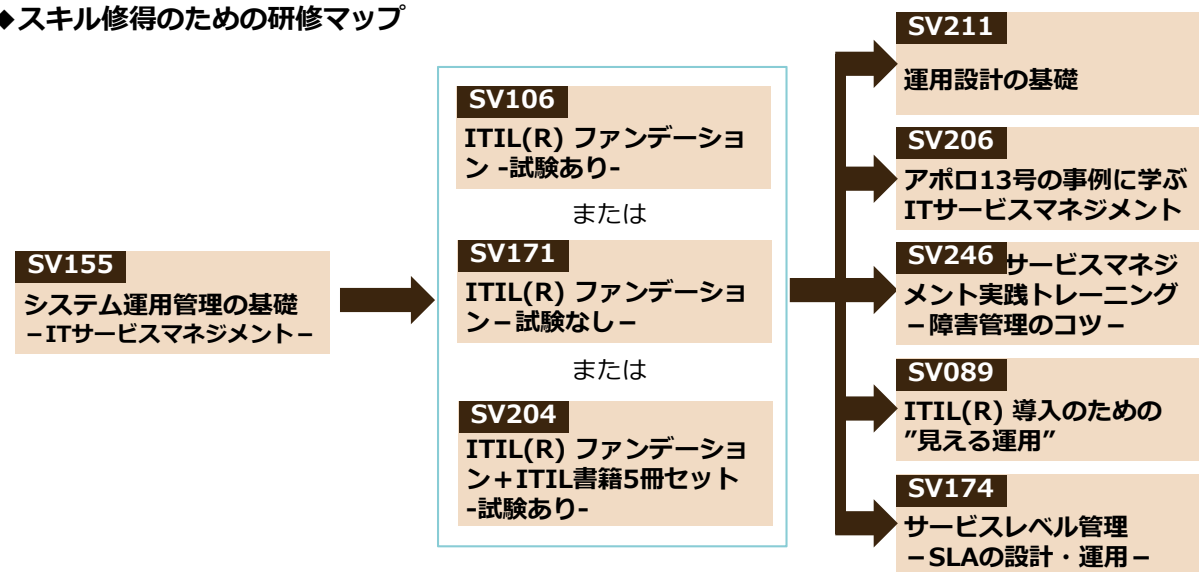
◆遂行する業務

ITシステムを安全かつ効率的に運用し、安定したITサービスを提供する

◆必要なスキル

- ①ビジネス活動をサポートするITサービスの目的を意識して、システム運用を行える
- ②ITサービスの生産性・品質の向上につながる保守作業や障害対応、その他のシステム運用管理活動の連携を検討できる
- ③リスクマネジメントや関連法規などのメソドロジを意識した、ITサービス提供に関与できる
- ④ITサービスを提供するチームをリードしてとりまとめたり、顧客とサービス品質を交渉したりできる
- ⑤顧客の要件を実現でき、効果的・効率的にシステム運用するための運用設計を行える
- ⑥ユーザ業務に役立つ情報システムの運用を管理できる

◆スキル修得のための研修マップ



Off-JTの効果을最大限に高めるために

研修の効果測定に関する権威であるロバート・プリンカーホフ氏によると、効果のない研修は、
研修受講前（受講者の心構え） / 研修そのもの / 研修受講後

にそれぞれ原因があるが、それらが研修効果に影響を与える割合は、**4:2:4**である、ということです（Robert Brinkerhoff, ASTD2007発表より）。

「研修の効果」とは、「その研修によって受講者のパフォーマンスがあがったかどうか」と考えてください。私たちは研修ベンダーとして、受講いただいた方々が学習内容を業務で活用できるように、研修内容の改善に日々取り組んでいます。悲しいことにそれが結果に及ぼす影響はたった2割なのです……。そこで、ぜひこの、8割の影響のある研修前後の働きかけを、受講者を送り出す上司やリーダーの方々に行っていただきたいと考えています。たとえば、

研修受講前に「なぜこの研修を受けさせたいのか」を伝える
研修受講後に「研修で学んだことを業務にどう活かせるか」を話し合う場を作る

このようなシンプルなことで十分です。部下やメンバーのパフォーマンスを向上させるために、さらに、みなさまの提供するITサービスの品質向上のために、ぜひ取り組んでください。

お問い合わせは、下記へ

人材開発サービス事業部 研修申込センター

URL: <http://www.neclearning.jp/> E-mail: contact@learning.jp.nec.com

TEL: 03(4330)7560 FAX: 03(4330)7550

●本資料に記載されている社名またはシステム・製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
●本資料では、TMや®は明記しておりません。



「ITエンジニアの若手リーダー」育成のすすめ

	コースコード	コース名	講習日数	受講料 (税込)
	コース内容			
『システム要件を定義する』 若手リーダーの業務1	SD163	アプリケーション開発の基礎	2日間	64,800円
	1.ソフトウェア開発の概要 2.プロジェクトマネジメント 3.コストモデル 4.構造化分析技法 5.データ分析技法 6.オブジェクト指向アプローチ 7.品質管理 8.契約と権利			
	SD378	ビジネスに貢献する業務要件定義	2日間	86,400円
1.業務要件定義の概要 2.現状の把握 3.要求と制約の調査 4.業務要件の整理 5.業務要件定義書のレビュー				
	SD384	システム要件定義	2日間	86,400円
1.システム要件定義の概要 2.現状の把握 3.機能要件定義 4.演習：機能要件定義 5.非機能要件定義 6.演習：非機能要件定義 7.システム要件定義書作成				
『高品質なシステムを開発する』 若手リーダーの業務2	SD163	アプリケーション開発の基礎	2日間	64,800円
	1.ソフトウェア開発の概要 2.プロジェクトマネジメント 3.コストモデル 4.構造化分析技法 5.データ分析技法 6.オブジェクト指向アプローチ 7.品質管理 8.契約と権利			
	SD219	システムインフラ基礎	1日間	41,040円
	1.システムインフラ 2.ネットワークインフラ 3.システム信頼性設計の基礎			
	SD130	システム設計の基礎	3日間	97,200円
	1.システム開発の概要 2.外部設計 3.内部設計 4.その他の設計要素			
	SD032	ユーザーインターフェース設計基礎	2日間	75,600円
	1.ユーザーインターフェース設計の概要 2.ユーザーインターフェースの設計プロセス 3.演習 4.人の特性と情報の視覚化 5.デザインパターン 6.総合演習			
	DB472	データベース論理設計	3日間	113,400円
	1.データベース設計概要 2.データ分析の手順 3.ERモデル 4.正規化 5.概念設計 (演習) (発表) 6.論理設計 7.物理設計			
	SD320	合意形成ができる仕様書の書き方	2日間	86,400円
	1.発注者と開発者の両者が合意できる仕様書とは 2.機能設計・レビューのコツ 3.画面設計・レビューのコツ 4.データモデル設計・レビューのコツ			
	SD223	システム開発のためのテスト技法	2日間	75,600円
1.テストの概要 2.ホワイトボックステスト技法実習 3.ブラックボックステスト技法実習 4.経験ベースのテスト 5.テストの進め方 (フェーズごとの特徴) 6.テスト結果の記録				
SD021	システム性能設計	1日間	45,360円	
1.システム性能設計の概要 2.システム性能設計技法 3.性能対応のポイント 4.性能設計適用事例				
SD058	システム性能テスト	1日間	45,360円	
1.システムライフサイクルにおける性能テストの位置づけ 2.性能と測定技術 3.非機能要件と性能の関係 4.負荷テストの考え方 5.検証結果の確認と対処				
DB040	データベース物理設計	2日間	86,400円	
1.データベース物理設計の概要 2.論理設計の見直し 3.表の設計 4.索引の設計 5.データ分散配置の設計				
SD060	システム開発のためのテスト設計	2日間	86,400円	
1.システム開発とテスト 2.テスト計画 3.演習1 テスト計画書作成 4.単体テスト設計 5.結合テスト設計 6.演習2 結合テスト設計 7.システムテスト設計 8.演習3 システムテスト設計				
OB047	UML基礎 (eトレーニング)	3時間	21,600円	
1.UML概要 2.クラス図 3.シーケンス図 4.ユースケース図 5.アクティビティ図 6.その他の図 (参考)				
SD344	明日から実践できるアジャイル開発の基礎	1日間	48,600円	
1.なぜアジャイルなのか 2.アジャイル・スクラム概要 3.ワークショップ：自己組織化 4.プロダクトの価値を追求する (動くソフトウェア) 5.ワークショップ：プロダクトの価値追求 6.イテレーション開発 7.ワークショップ：イテレーション開発 8.正しい見積りは存在するか? (アジャイルの見積と計画づくり) 9.ワークショップ：アジャイルの見積と計画 10.チームの成長 (振り返り) 11.ワークショップ：振り返り				

「ITエンジニアの若手リーダー」育成のすすめ

	コースコード	コース名	講習日数	受講料 (税込)
	コース内容			
若手リーダーの業務3『システム開発プロジェクトをマネジメントする』	PJ166	プロジェクトマネジメント-入門編-	1日間	32,400円
	1.プロジェクトマネジメントとは 2.プロジェクトを立ち上げる 3.プロジェクトを計画する 4.プロジェクトを実施する 5.プロジェクトをコントロールする 6.プロジェクトを終結する 7.プロジェクトリーダーに求められるもの			
	PJ136	プロジェクトマネジメント-体験編-	3日間	129,600円
	1.プロジェクトマネジメント概説 2.演習課題説明 3.シミュレータ操作説明 4.プロジェクトマネジメント計画立案 5.シミュレータによる演習 6.中間報告書作成 7.シミュレータによる演習 8.プロジェクト完了報告書作成			
若手リーダーの業務4『システム運用をマネジメントする』	PJ292	事例で学ぶプロジェクト計画力強化コース	2日間	86,400円
	1.イントロダクション 2.PMBOK(R)ガイドとは 3.プロジェクト・ベースラインの作成 4.プロジェクトベースラインの作成演習 5.プロジェクト管理計画の作成 6.ITプロジェクトにおけるプロジェクト計画			
	PJ293	事例で学ぶプロジェクト管理力強化コース	2日間	97,200円
	1.イントロダクション 2.PMBOK(R)ガイドとは 3.プロジェクト計画書 4.進捗管理 5.課題管理 6.変更管理 7.ステークホルダー管理 8.品質管理 9.リスク管理 10.プロジェクト組織と会議体 11.外注管理			
	SV155	システム運用管理の基礎 -ITサービスマネジメント-	2日間	71,280円
	1.システム運用管理とは 2.オペレーション管理 演習 3.障害管理 演習 4.資源管理 演習 5.サービスレベル管理 演習 6.性能管理 演習 7.セキュリティ管理 8.コスト管理 9.リスク管理 演習 10.システム運用計画 演習			
	SV106	ITIL(R) ファンデーション -試験あり-	3日間	172,800円
	1.ITIL概要 2.ITILサービスストラテジ 3.ITILサービスデザイン 4.ITILサービストランジション 5.ITILサービスオペレーション 6.ITIL継続的サービス改善 7.試験対策 (模擬試験) 8.ITILファンデーション試験			
	SV171	ITIL(R) ファンデーション-試験なし-	3日間	152,064円
	1.ITIL概要 2.ITILサービスストラテジ 3.ITILサービスデザイン 4.ITILサービストランジション 5.ITILサービスオペレーション 6.ITIL継続的サービス改善 7.試験対策 (模擬試験)			
SV204	ITIL(R) ファンデーション+ITIL書籍5冊セット -試験あり-	3日間	237,600円	
1.ITIL概要 2.ITILサービスストラテジ 3.ITILサービスデザイン 4.ITILサービストランジション 5.ITILサービスオペレーション 6.ITIL継続的サービス改善 7.試験対策 (模擬試験) 8.ITILファンデーション試験				
SV211	運用設計の基礎	2日間	97,200円	
1.システムライフサイクルにおける「運用」 2.「運用設計」とは 3.「運用設計」の手法 4.「運用設計書」の種類と作成				
SV206	アポロ13号の事例に学ぶITサービスマネジメント	1日間	54,000円	
1.オリエンテーション 2.映画「アポロ13」の視聴 3.演習課題 (グループディスカッション)				
SV246	サービスマネジメント実践トレーニング-障害管理のコツ-	2日間	97,200円	
1.運用における障害対応 2.インシデント管理と実践 3.問題管理と実践 4.障害対応に重要なその他のプロセス				
SV089	ITIL(R) 導入のための“見える運用”	1日間	54,000円	
1.THE VISIBLE OPS(見える運用) とは 2.変更の監視と初動の改善 3.目録作成と脆弱な資産の特定 4.繰り返し構築できるライブラリの作成 5.継続的な改善 6.内部統制と監査				
SV174	サービスレベル管理 -SLAの設計・運用-	2日間	86,400円	
1.SLM概要 2.サービスカタログ 演習 3.SLMの活動 4.SLMの導入 演習				

掲載コースの詳細情報はこちら <http://www.neclearning.jp/>

「キーワード/コースコードを入力」欄にコースコードを入力すると、コースの詳細やスケジュールの最新情報をすばやく確認することができます。

お問い合わせは、下記へ

人材開発サービス事業部 研修申込センター

URL: <http://www.neclearning.jp/> E-mail: contact@learning.jp nec.com

TEL: 03(4330)7560 FAX: 03(4330)7550

- 本資料に記載されている社名またはシステム・製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
- 本資料では、TMや®は明記しておりません。

